

思い出はいつまでも

学園長 小島 澄人



都心に住んでいる卒園児から電話、「医師の国家試験に合格したので嬉しいので、幼稚園の裏山を見たくなりました」、その子は、卒園と同時に都内に引っ越した方でした。長年の夢を叶えて、幼稚園にも報告したかったのでしよう。私にと、チョコレートや、先生たちにとお菓子を頂きました。所用でお会

い出来なかったが、素敵になったその姿を本当に見たかった。また、大阪に引っ越した子が、大学を卒業、その報告にとバイクでやって来ました。本当に嬉しい限りです。

この1年もコロナの1年でした。けど子どもたちはよく動き、よく遊びました。それぞれが思い出を抱き、卒園し、また進級しますが、この1年は良き年として、次の年を迎えたいと思います。幼稚園3園（玉川中央幼稚園、夢の森幼稚園、柿の実幼稚園）、保育園15園も、コロナ禍の中、明日への笑顔で次の年を迎えて欲しい。いや全国の幼稚園、保育園のみんなにも。

3月13日、朝池の上まで来ると、カエルの合唱が聞こえます。よく見ると山の方から池の方にゆっくり移動しています。池に産卵のためです。毎年動きですが、本当に繰り返します。41年間、この現象を見てきましたが、もう春が近づいています。また池の周り、せせらぎでは子どもたちが目を輝かせて卵を見入ります。その光景は神秘的です。オタマジャクシになり、そしてカエルになっていく。また1年が過ぎ、新しい年に。

梅の花が咲き、桜も咲こうとするこの時期、またジャガイモを植え付け収穫が楽しみになりました。卒園する子、進級する子、本当におめでとうございませう。この1年、皆様のご協力、ご心配、様々な思い、感謝ばかりです。

